

■：政府の2014年度1月の「月例報告」を読んだ人は、みんなホッと胸をなでおろしましたね。まず景気の基調判断を「緩やかに回復している」。昨年末の「緩やかに回復しつつある」から4カ月ぶりの上方修正、とくに「回復している」と明記したのはリーマン・ショック前の2008年1月以来、実に6年ぶりとか。「しつつある」は進行形、「している」は現時点そのものの状況を表したものだ。個人消費も「持ち直している」から「増加している」と判断を引き上げています。年明け早々の明るいニュース。

■：経済協力開発機構(DECID)が発表した「国際成人力調査」では、24の国と地域の16〜65歳の大人たちの「読解力」「数的思考力」「ITを活用した問題解決能力」の3つのうち日本は最初の2項目でいずれも第1位、ただ3項目では第10位でした。ITは別としてやはり読解力、数学的思考力は社会生活を送る上で必要な学力であり能力。学校や教師などをめぐるトラブルはあとを絶ちませんが、教育制度は他国に比べて立派

なのでしよう。

■：イヤな話題は法務省発表の「犯罪白書」から。世界最長寿を誇る日本女性、それも65歳以上の高齢者の犯罪が大幅に増えていることです。刑法犯で検査された高齢女性は全年齢層の27%を占め、1993年の6%からこの20年間で大幅に増えたそうです。なんとその犯行のほとんどは万引き(窃盗罪)というから驚き。経済的困窮や福祉、家族や近隣からの孤立、心理的閉塞感など色々な原因があるのでしようか。ウチのおばあちゃんはいちやん顔負けの元気で働き者、そんな家庭が多いはずですが……。

■：「ドボジョ」ーこの「新語」ご存知ですか？ 若い女性が教えてくれました。土木系の仕事や学問に携わっている土木系女性のことだそうです。アメリカやヨーロッパで1960年代ごろから道路工事の現場でヘルメットをかぶった女性たちが働いているのを見たことがあります。たとえば今わが国でもA大手建設会社で働く女性土木技術者「ドボジョ」がここ10年で3倍に増えて70人とか。巨大なくいの上立って男性作業員たちに指示しているのが可愛い

女性技師。時代は急ピッチで変わっていくよう。

■：毎日新聞の国際報道部記者高橋友佳理さんがアフリカの紹介記事で、アフリカ連合(AU)が2010年からの10年間で「アフリカ女性の10年」と位置づけて、地位と権利向上に取り組んでいることを紹介しています。マラウイの女性大統領は9人の子持ち。AUとリベリアのトップも女性。女性国会議員はセネガルと南アフリカで42%。世界最高はルワンダの56%。さて日本の衆議院の女性議員は7.9%で世界最低水準とか。アベノミクスで女性の地位向上を掲げていますが、2012年版の「男女格差報告」では135カ国の日本は101位とか。女尊男卑、はどうやったら達成されるのでしょうか。

■：フィリピン・ルパング島山中に約30年間潜伏して1974年、帰国した旧日本軍の陸軍少尉小野田寛郎さん(91)が去る1月16日死去されました。グアム島から帰国した旧日本兵横井庄一さん(82)と並んで第2次大戦の「軍人魂」のシンボルだったお2人。戦争の記憶がどんどん薄れていく。悲しいことです。

月刊公論 MONTHLY  
KORON

3月号 第47巻3号

平成26年3月1日発行 毎月20日発売  
定価890円(本体848円) 送料92円

発行人 大 中 吉 一 編集人 田崎義信 土井正彦  
発行所 株式会社財界通信社  
〒160-0008東京都新宿区三栄町25ボナフラワービル  
TEL.03-5379-5611代、FAX.03-5379-5616  
印刷所 株式会社廣済堂  
取次店 トーハン/日本出版販売/大阪屋/栗田出版販売

●直接ご購入をご希望の方は、本社までお問い合わせ下さい。  
●万一、乱丁、落丁などの不良品がございましたら、お取り替えいたします。